

■ 前回のあらまし

1. 公園部会の進め方 について(前回資料1 P1)

- ・部会長の決定など
三橋副会長を景観部会長とする。協議会の会長副会長は、両部会の連絡調整のため両方の出席する。
- ・公園部会の担当範囲の決定など
サイクリング道路以南とする。サイクリング道路は公園部会の担当とする。(必要であれば議論はできる)
- ・担当項目と検討の優先順位の決定など
下記の1)～4)について検討を行う。検討の順番は1)から順に優先して検討を行う。
 - 1) 自然海浜公園の整備(土地利用・修景・植栽・管理運営など) について
 - 2) 区画道路・サイクリング道路の整備 について
 - 3) 漁港施設 について
 - 4) 海水浴場 について

2. エージング(耐久性)の考え方 について(前回資料1 P2)

- ・事務局より説明を行う

3. 基礎情報の把握と方向性の検討(前回資料1 P4)

- ・各場所ごとに下記の状況を説明し、グランドプランを実行するにあたっての課題を説明
平成18年度グランドプランにおける方針及び方向性、土地所有・占用・管理者、既存施設概要、既存計画・事業予定など
- ・以下議事録より議論を抜粋

公園という意味について

- ・どのような公園を目指しているのか把握したい。
自然海浜公園についての考え方は資料P3にて説明してあります。自然修復についてもまとめてある。
国立公園・国定公園のようなイメージだと思う。環境に配慮した民間の建物がエリア内にあるような状態。

区画道路の必要性について

- ・区画道路は必要なのか? 既存道路は議論した結果、道路が必要ではないと判断されれば、なくなるのか。
既存道路は、自然素材を取り入れるなどの修復を考えています。

お祭り広場について

- ・お祭り広場と駐車場は砂浜に戻す予定。飛砂対策と海浜性植物の生育との両立が課題だと考えています。
砂丘が形成されると浜降祭の開催に支障をきたすことが予想されます。
駐車場容量を県営駐車場に分担させるプランとなっており、県営駐車場の運営時間や管理の変更が必要となる。
駐車場ありきではなく従来の砂浜に戻すのが、このプランの主旨だと思う。どの程度かはこれから検討すべき所である。
冬場の飛砂が一番問題である。暖かい時期はあまり問題にはならない。お祭り広場への飛砂への対策が重要だと思う。
市民団体で、南西側の風に対してどのような対策をしていくかを、数値で表していこうと考えているため現在調査している。
浜降祭が現在の場所できないのなら、代替地を考えなければならないと思う。
護岸に隣接する舗装部分が邪魔である。ない方がいいが、あれないと大波の時に港や砂浜に大きなダメージが発生する。
完全な砂丘化は浜降祭がやりにくい。車が入れなくなり、道具が運べない。
自然が議論の中心では困る。産業や防災やそのほかの人的活動が大事だと思う。
御神輿を担ぐ場と砂草の場所は同一にしない方がいい。

漁港施設について

- ・駐車容量と漁港施設
市場や関連施設を整備しないなら、駐車場は2400㎡でいいのではないかと。
業者や一般を考えると300～400台は入っている。ピーク時はプラス100台位増える。
漁業の保管施設どれ位いれていくのですか。また土地利用はどうするのですか。
業務倉庫は足りていないので、現在の2倍くらいは必要。
- ・その他 現在は火気禁止なのですが、バーベキューについては(行っても)いいのですか。
バーベキューなどの需要があるのなら、エリアを限定して有料施設をつくることも考えたい。

サイクリング道路と海水浴場について

- ・サイクリング道路に自転車置き場スペースが必要。
- ・海水浴場について、組合の皆さんでなにか議論をしていますか。
入込み客は減少しているの、利便施設やイベントを考えていかななくてはならない。
海水浴場には駐車場はいらないと思う。車で砂浜まで来ると、海の家代わりに車で脱衣やシャワーなどを済ますことが出来るから。駐車場は国道の北側に設けた方がよい。
駐車場は、皆ほしいと思う。

■ 今回の進め方

1. 平成18年度グランドプランにおけるサイクリング道路以南の位置づけの確認。
平成18年度グランドプラン土地利用方針及び緑・自然環境保全の方針より抜粋

2. 公園部会で検討すべき内容の提案と検討。
駐車場・お祭広場・飛砂問題・護岸・植物・ボードウォーク及び道路の考え方

3. 駐車場台数に関する考え方。
漁港整備構想及び平成18年度グランドプランにおける考え方
必要最小限の駐車台数の考え方

4. サイクリング道路以南の保全及び整備計画(事務局提案) その1
サイクリング道路以南の土地利用転換と大まかな保全及び整備計画の提案